

6階西病棟

消化器内科・救急集中治療科 50床

＜スタッフ構成＞

師長・・・1名 主任・・・2名
看護師・・・29名 看護助手・・・2名
合計・・・34名

消化器内科医師・・・医師10名

＜主な疾患＞ 急性期～慢性期～終末期まで
胃がん・大腸がん・膵臓がん・食道がん・肝臓がん
膵炎・肝炎・胆石・肝硬変・出血性胃潰瘍・憩室炎
大腸、胃ポリープ切除目的など

＜主な治療・検査＞

胃・大腸ポリープ

→ EMR、ポリペクトミー

総胆管結石・膵炎

→ ERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）

→ EST（乳頭部切開）

肝細胞癌

→ TAE（アンギオで抗癌剤注入による塞栓療法）

食道静脈瘤

→ EIS（食道静脈瘤硬化療法）

→ EVL（食道静脈瘤結紮療法）

悪性疾患

→ 抗がん剤（点滴・内服）

救急集中治療科・・・医師3名

＜主な疾患＞

肺炎・脱水・敗血症・薬物中毒
尿路感染症など
全身管理が必要な様々な病態

ICU/CCUやSCU
との連携を行い、救急集中治療科の患者さんを受け入れている。

＜6西病棟の目標＞

- ① **安全で安心できる療養環境の提供と
患者・家族に寄り添った継続看護の実践**
毎週退院調整・緩和カンファレンスを実施し、患者さん1人ずつの背景を把握しながらスタッフ全員が、思いやりの気持ちを持っている。
- ② **看護職員の自立に向けた人材育成と
働きやすくやりがいを持てる環境作り**
全スタッフがスキルアップを目指して成長できるように、役割ごとの病棟会議を毎月実施している。新人看護師が職場に適応し早く業務に慣れることができるよう、全員で見守る体制がある。

EMRはクリニカルパス使用
1泊2日入院

6西病棟は短期の検査入院の他に、がん患者さんが多いため院内でも亡くなる割合が高い。
検査前後の看護から緩和ケアや看取り、在宅看護までの一連の流れを学んでスキルアップができる。

